

# どんな環境でも活用できる介護技術研修（移乗・応用編）

移乗（トランスファー）は、生活の質を高めるための重要な役割を担います。また、「何かに乗り移る」という物理的な介助（行為）のみならず、コミュニケーションの一つとして、とても大切な要素も持ち併せています。この人に安心してお風呂に入ってもらいたい、この人においしく食べてもらいたい、この人に気持ちよく排泄して欲しい。この思いが具体的な手立てとなり相手に伝わった時、人の心が動き身体が動きます。仮にも言語・意識の障害があっても私たちには、食事・排泄・入浴の介助を通じてその人と心と身体を通わせていきます。それが私たちの仕事です。腰痛ゼロの移乗介助は、介護するものが自分を大切にする方法です。自分に関わった人が心と身体を痛めることを一番悲しく思うのはご利用者です。自分を傷つけない、ご利用者を傷つけない、それが腰痛ゼロの移乗介助なのです。今回は応用編として、移乗の基本を確認しながら、ご利用者さんの状態に合わせた移乗方法、そして、誰も教えてくれなかったハイレベルの「立てない人の床からベッドへの介助」のスーパーテクニックまでお伝えしたいと思います。現場で実践したくなる1日実技の研修です。**なお、移乗のための福祉用具は使用しませんので、どんな環境(福祉用具の導入が難しい事業所)でも活用できる技術となっています。**

内容

立ち上がりの仕組みを理解する（動作分析）／立ち上がりの3条件とは？／  
座り直しの方法とは？（移乗の基本）／  
後方介助（移乗の基本）／  
前方介助（担ぐトランスファー）※足にあまり力のない人、足が床につく人／  
胸を合わせるトランスファー（相手の脇へ入り込む）※足にうまく力の入らない人／  
胸を合わせるトランスファー（相手の脇へ入らないパターン）／  
イスを使った胸を合わせるトランスファー（相手の脇へ入り込む）※膝をつくのが苦手な人は、イスを使う／  
スライド法の基本①※手足に全く力の入らない人、重度の人に用いる  
スライド法の基本②（逆パターン）  
スライド法の応用①※前屈みができない人、足が伸びきった人  
スライド法の応用②※前屈みにはできないが、足が下りる人  
スライド法の応用③※手が曲がったまま拘縮している人  
ハイレベル 立てない人の床からベッドへの介助

講師：大塚 洋（おおつか・ひろし） 新しい介護研究所代表／理学療法士／介護支援専門員／福祉用具専門相談員／キャラバンメイト／生活リハビリ研究所・介護アドバイザー

日 程 H30年7月24日 9：30～16：30  
受講料 10,800円  
会 場 札幌市教育文化会館 札幌市中央区北1条西13丁目地下鉄東西線西11丁目駅徒歩5分  
対 象 どなたでも受講可能  
申込方法 ファックスでのお申込になります。下記の申込書式を記入の上、ファックスを送信願います。受付後確認のファックスを致します。  
支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。  
問合せ先 お茶の水ケアサービス学院 TEL 03-3863-4000

**ファックス 03-3863-4006**

お名前	フリガナ	役 職	
		事業所名	
住 所	(〒 - ) (事業所・自宅)		
TEL		FAX	

※お申し込み後（お申込み日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。また、申込日に拘らず7/10以降については全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。  
※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。